

田辺市議会だより

発行 / 田辺市議会 編集 / 広報委員会

令和8年
(2026年)

8 月号

第2回（6月）定例会 令和8年度田辺市一般会計補正予算などを可決



【目次】

主な議案の内容	P 2
議決結果、採決賛否一覧ほか	P 3
意見書の提出、一般質問ほか	P 4 ~ P 7
第3回（9月）定例会予定ほか	P 8

表紙の写真

7月1日（水）に、田辺扇ヶ浜海水浴場
オープニングセレモニーが開催され、市議
会からは議長が出席されました。

当日は、あいにくの雨でしたが、関係者
の皆さんとともに海水浴場の安全祈願を行
いました。

（海水浴場開設期間 8月31日（月）まで）

第2回（6月）定例会

第2回（6月）定例会は、6月17日から7月8日までの22日間の会期で開催し、「田辺市公園条例の一部改正について」など、市長提出議案28件を全て原案のとおり可決（人事案件については、同意）しました。

また、専決処分事項についてなど7件の報告を受けたほか、議員提出議案1件を可決し、「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」を政府に提出することを求める請願については不採択としました。

本定例会では、6月26日、29日及び30日の3日間にわたり、12人の議員が一般質問を行いました。



主な議案の内容

補正予算

●議案第4号

一般会計補正予算（第1号）

1115万9000円

・コミュニティ助成事業費補助金

550万円

コミュニティ助成事業の採択を受けて、町内会が実施する施設用備品の整備及び自主防災会が実施する防災備品の整備に対して補助を行う。

・医療費助成システム改修事業

250万円

令和7年度税制改正に伴う医療費の支給判定の変更に対応するため、医療費助成システムの改修を行う。

・障害者福祉施設整備費補助金

1793万3000円

国の補助採択を受けて、民間事業者が実施する施設の整備に対して補助を行う。

・児童扶養手当システム改修事業

375万円

令和7年度税制改正に伴う児童扶養手当の支給判定の変更に対応するため、児童扶養手当システムの改修を行う。

・地域医療介護総合確保事業施設等整備費補助金

1864万8000円

県の補助採択を受けて、民間事業者が実施する介護サービス施設の開設準備に対して補助を行う。

・交通空白対策実証運行事業

1210万円

観光地としての受人態勢の充実を図るため、国の補助採択を受けて、交通空白等の解消に向けた実証運行を実施する。

●議案第28号

一般会計補正予算（第2号）

1億7633万5000円

・物価高騰対策子育て世帯支援金給付事業

4430万円

食料品価格の高騰の影響を特に受けている子育て世帯の負担を軽減するため、支援金を給付する。

・こども食堂食材費高騰対策支援事業

43万5000円

食料品価格の高騰に伴うこども食堂の負担を軽減するため、食堂を運営する個人又は団体の支援を行う。

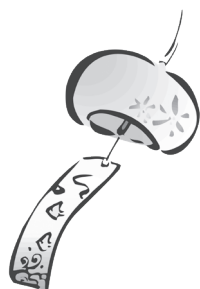
条例

●議案第1号

田辺市公園条例の一部改正について
新たに上秋津2099番地の9に公園を設置するため改正を行う。

●議案第2号

田辺市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について
非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、非常勤消防団員等に係る葬祭補償の額を改定するため、所要の改正を行う。



議決結果

第2回（6月）定例会

件 名		議決結果
令和7年5定請願第1号	「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」を政府に提出することを求める請願	不採択 (賛成少数)
2定議案第1号	田辺市公園条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
2定議案第2号	田辺市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	
2定議案第3号	損害賠償の額の決定及び和解について	
2定議案第4号	令和8年度田辺市一般会計補正予算（第1号）	
2定議案 第5号～23号 (19件)	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 畑和伸氏（新）・瀧川裕司氏（再）・福嶋隆氏（再）・谷口浩司氏（再） ・岡潔氏（再）・谷本喜久氏（再）・坂本隆英氏（再）・鈴木一弘氏（再） ・田中輝勇氏（再）・山本弘晴氏（新）・行森照明氏（新）・玉置伸氏（再） ・中畑良治氏（新）・山本敏夫氏（再）・高田幸安氏（再）・長嶺博司氏（再） ・松本篤人氏（新）・峯園五郎氏（再）・石谷強氏（新）	同意 (全会一致)
2定議案 第24号～26号 (3件)	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて 光吉直也氏（再）・曾我部一氏（再）・宮本博文氏（再）	
2定議案第27号	固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて 竹中孝雄氏（新）	
2定議案第28号	令和8年度田辺市一般会計補正予算（第2号）	原案可決 (全会一致)
2定発議第1号	特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」の抜本的対策強化を求める意見書の提出について	

※議案番号の前の「2定」は6月定例会を表しています。
※議案第〇号は市長提出議案、発議第〇号は議員・委員会提出議案です。

賛否が分かれた議案	議案の可否	くまの篤志会					紀新会					公明党			清新会		日本共産党		
		安達 幸治	谷 貞見	笠松 美奈	高栖 浩史	浅山 誠一	松上 京子	尾花 功	安達 克典	山本 竜児	宮井 章	橘 智史	加藤 喜則	林 謙二	佐井 昭子	北田 健治	柳瀬 理孝	久保 浩二	前田 かよ
令和7年5定請願第1号 「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」を政府に提出することを求める請願	不採択	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	/	×	×	○	○

【○…賛成 ×…反対】 ※議長（佐井昭子）は採決に加わらないため斜線としています。

「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」を政府に提出することを求める請願

令和7年9月定例会に提出され継続審査となっていた請願については、所管の総務企画委員会で審査を行い、本定例会で採決した結果、賛成少数により不採択としました。

【総務企画委員会「委員長報告」抜粋】

今回の「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」を政府に提出することを求める請願については、単なる利便性の問題にとどまらず、家族制度や戸籍制度、子供の氏の在り方など、日本社会の根幹に関わる重要な制度であり、導入の是非については十分な検討と国民的な合意形成が必要であると考えている。まずは現行制度の改善によってどこまで課題が解決されるのか見極めることが必要であり、その結論は、立法府である国会において慎重に導かれるべきであるという意見がありました。

一方で、現行制度下における婚姻は、同姓でなければ認められない状況で、これは、日本国憲法第13条の自己決定権として保障される婚姻の自由を、不当に制限するものとの主張があり、この問題を解消するためには、選択的夫婦別姓制度の導入が必要であるとの意見がありました。

また、本請願は、直ちに制度導入を求めるものであったが、内閣や連立与党の枠組みが変わったことに伴い、現在は、国会における継続的な議論を求める旨の意向が示されている。国民の間で意見が分かれ長年議論が続いている課題であるからこそ、特定の結論を今すぐ求めるものではなく、国会での議論の継続と熟議の必要性を認めるものであるとの意見がありました。

第2回（6月）定例会で可決した意見書

第2回（6月）定例会では、次の意見書を可決し、市議会の意思として、国会や関係機関へ提出しました。

特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」の抜本的対策強化を求める意見書

（令和8年7月8日提出） ※抜粋

クビアカツヤカミキリは、中国等を原産とする特定外来生物であり本市の主力産品であるウメをはじめ、モモ、スモモ等のバラ科の樹木を食い荒らして枯死させる害虫である。

和歌山県では、令和元年に初めて紀北地域で被害が確認されて以来、県下30市町村のうち被害地域が18市町まで拡大し、被害エリアの南下が深刻化している。

本市にとって梅産業は、地域経済を支える重要な基幹産業である。しかしながら、近年は気象災害や不作等の影響により、生産者や関連事業者を取り巻く環境は、厳しさを増している。

このような状況の中で、クビアカツヤカミキリが侵入、定着すれば梅産業のみならず地域経済にも極めて大きな打撃を受けることになる。

地方公共団体のみの対応で侵入を防ぐことは、極めて困難であり、広域のかつ一体的な対策や効果的な防除技術、防除体系の確立が急務となっている。

よって、国におかれては、クビアカツヤカミキリによる被害の拡大防止と地域農業及び住民生活を守るため、次の事項について早急に取り組まれることを強く要望する。

記

1. クビアカツヤカミキリ被害を全国的な重要課題として位置づけ、地方公共団体等の対応に委ねることなく、国が主導する実効性のある広域的な対策を確立すること。
2. 農林水産省、環境省、国土交通省ほか関係機関の連携強化及び地方公共団体等との密接な連携を図り、被害地域及び未侵入地域を含めた一体的なまん延防止対策を講じること。
3. クビアカツヤカミキリ対策に係る試験研究については、国が中心となって防除技術の開発を加速させること。
4. 地方公共団体及び農業者等が継続的かつ効果的な防除対策を実施できるよう、十分かつ安定的な財政支援措置を講じること。

※ 議 は議員からの質問・意見、市 は市当局の答弁を表しています。
※ 編集の方針上、「～だ」「～である」といった文体に統一しています。

一般質問

柳瀬理孝議員



議 2026 イラン戦争により、ホルムズ海峡が封鎖され、石油関連の資材不足・物価高騰が続いている。とりわけ建築業界への影響は大きく、事業者にも不安が広がっている中、本市公共事業への影響と市の対応方針について問う。

市 現在進行中の事業として、紀南文化会館改修事業は不足資材を代替品に変更することで対応できたが、小泉浄水場整備事業では塩化ビニル管等の不足により4か月の工期延長となる見込みである。中東情勢等のやむを得ない外的要因による資材不足・物価高騰については事業者との連携を密にし、適切に対応していきたい。

中東情勢による
本市公共事業への影響について

尾花 功議員



議 被害対策の一つとして薬剤による防除が挙げられるが、農家では、品質向上のために防除作業が行われている。地域全体で同時期に防除を行うことが必要であると考えている。

市 地域を挙げて一斉防除を行うことは、有効な対策の一つであると認識しているが、薬剤散布は主に殺虫効果を期待するものであり、これだけで侵入や産卵を完全に防ぐことは難しい状況にあるものの、一方では研究により忌避効果があることも報告されている。地域に防除の空白地帯をつくらないように、周辺農家が足並みをそろえた「地域全体での一斉防除」の実施に向けた取組を進める。

議 効率的な対応をお願いしたい。

「特定外来生物クビアカツヤカミキリ」の
薬剤一斉防除対策について

一般質問

久保浩二議員



議 紀北から桃、梅、桜とクビアカツヤカミキリの被害が印南町まで拡大している。みなべ・田辺では被害の確認はまだないが現状をどのように認識しているのか。

市 県南部へと拡大している現状は、本市にとって極めて脅威と認識している。

議 成虫が産卵する6月から8月にかけて、農薬散布など、今年対応することが被害拡大を防ぐことになるのでは。

市 今季既に当地域に侵入し、産卵が行われている可能性は否定できないので、薬剤による一斉防除に向け関係各所に実施をお願いしてまいりたい。

議 先日、農林水産省の担当者に対して支援の要請を行ってきた。担当者は丁寧に対応してくれ「支援の必要があれば連絡ください」との回答であった。財政支援を含めすぐに要望するべきだ。

クビアカツヤカミキリの
侵入防止及び防除対策について

谷 貞見議員



議 本市における学校体育館の空調設備整備状況と必要性についての認識は。

市 本市の小中学校体育館は34施設あり、空調設備を設置しているのは一校のみとなっている。児童生徒が安全かつ安心して教育活動に取り組める環境を確保する観点から、体育館の温熱環境の改善は重要な課題であると認識している。また、災害時には、多くの小中学校体育館が指定避難所となっており、避難者の安全・安心の確保や健康管理、生活環境の改善を図る上でも、空調設備の整備は重要であり、必要性はこれまで以上に高まっていると認識している。

学校体育館の空調設備について

笠松美奈議員



議 小児科・産婦人科医の年齢構成や医師の数から将来の医療提供体制をどう考えているか。

市 医師数の動向や診療所の閉鎖による影響に留意が必要だ。

議 子育てに関する相談事業においてどういうニーズがあるのか。

市 時間や居住地域を問わず医師等の専門的な助言を得たいというニーズがある。

議 オンライン相談を検討しては。

市 医師が減少する中、夜間や休日でも医師に相談でき、保護者の不安軽減の手段の一つと考えており、検討していきたい。

安心して出産・子育てができる
環境整備について

松上京子議員



議 要介護認定において、実態と乖離のある軽度の判定となり、十分な介護サービスが受けられないという声を聞く。現状の認識と改善についての見解は。

市 認定結果の受け止めについて把握することは難しい。調査は家族等の立会いに加え、本人の日頃の状態を知る人への聞き取りも行い、特記事項に記している。結果に納得できない場合の不服申立てや、調査時と状況が変わった場合の区分変更申請については周知し、問合せには丁寧に対応している。今後も審査会委員や認定調査員への研修等を通じ公平・公正な認定に努めていく。

要介護認定について

前田かよ議員



議 文里湾横断道路整備費は当初試算から**7割増え**、2023年時点の総事業費は**200億3千万円**、**市の負担は33億4千万円**。以降も物価高騰は続いており、本体工事着手を前に最新の事業費見込みを算出していないのは財政的危機管理の不足だ。費用便益費も初期試算から下がっている。市でも精査し、県と協議し**緊急に費用便益の再評価が必要**だ。効果が見込めないと判断された場合は、**財政的な撤退ラインを設ける**考えはあるか。

市 県に事業費の再算出と費用便益費の再評価を求めるが、費用のみならず条件の変化や様々な効果を総合的に検証し判断する。

議 膨張する建設費が市民サービスの抑制にならないようにしていただきたい。

文里湾横断道路整備計画について

林 謙二議員



議 令和8年3月に導入された「林野火災警報・林野火災注意報」の運用状況について問う。

市 発令時の周知方法について、林野火災注意報は、市公式LINE、X、ホームページ及びテレビ和歌山の地デジデータ放送へ掲載を行い、林野火災警報は、これらに加え防災行政無線による放送及び防災行政メールの送信を行う。また、たき火を行う場合は、消防署への届出が必要であり、この届出をされた方に対して、林野火災注意報、その他の火災が発生しやすい気象情報があれば、その旨を連絡する。

本市の地理的特性に応じた
林野火災対策について

山本竜児議員



議 制度の隙間とは何か。

市 行政の社会保障制度等には利用条件の限界があり、制度だけでは十分に支援できない住民の生活課題のことである。

本市では、この課題に対し、一元的に相談に応じる「**重層的支援体制整備事業**」や、**身近な公民館の活用検討**、地域の力で支え合う「**田辺らしい自治**」を進めている。

また、地域課題をビジネスの視点で捉え、各種活動を通じてその隙間を埋める存在として、「**たなべ未来創造塾**」の塾生の活躍にも期待が寄せられている。

制度の隙間から考える
地域共生社会の実現について

浅山誠一議員



議 田辺市立小中学校の適正規模・適正配置について新たな議論が必要では。

市 教育委員会においては、地域の学校を残したいという思いから、可能な限りの存続を目指している。しかし、次のような場合には、統廃合について議論を開始すべきと考えている。

- ①配置される教職員数では学校生活上における児童生徒の安全確保に課題がある。
- ②児童生徒、保護者、地域のいずれかから統廃合に関する要望がある。
- ③市の財政状況が多数の学校の存続に耐えられなくなる。
- ④現段階では想定していない何らかの状況の変化により、存続が困難である。

田辺市立小中学校の
適正規模・適正配置の在り方について

一般質問

加藤喜則議員



高栖浩史議員



議 南海トラフ巨大地震による住宅被害に対し、応急仮設住宅の用地確保の現況と今後の具体的な対策は。

市 必要戸数 7,100 戸に対し、約 5,900 戸が不足している。今後は比較的小規模な公有地まで調査対象を広げ、建設候補地の拡充に努める。

議 その応急仮設住宅の候補地を、平時は防災公園や交流拠点として整備し、日常的な利活用と防災機能を両立させる考えは。

市 既存の候補地の一部は既に多目的利用しているが、今後用地を確保する際は平時の活用も含めて検討する。

応急仮設住宅の用地確保と
平時の活用策について

議 特定居住促進区域が増加するとどのような効果があるのか。

市 二地域居住を希望される方にとって滞在先の選択肢が広がるとともに、それぞれの地域において新たな人の流れが生まれることが期待される。地域における消費活動の活性化や担い手の確保といった直接的な効果に加え、地域と継続的に関わる関係人口の拡大、将来的な移住・定住につながる。

また、国における二地域居住への交付金支援を活用し、県が促進区域へ通じる道路の拡幅整備を計画している事例もある。

二地域居住について

田辺市高校生議会

田辺のまちづくりについて、高校生と市議会議員とが意見交換を行う「田辺市高校生議会」を開催します。

◆日時

令和 8 年 8 月 7 日 (金)
午後 1 時～午後 4 時 30 分まで

◆場所

田辺市役所
6 階「議場」及び「委員会室」

◆参加する高校生

市内の高校に在学中の生徒
(参加者の募集は終了しています。)

◆傍聴

午後 1 時 30 分から、どなたでも傍聴することができます。
なお、午後 1 時からのオリエンテーションは傍聴できません。

一議会を傍聴しませんかー

市議会の本会議は、どなたでも傍聴することができます。市民の皆さんの生活に直結した重要な問題が審議され、市政の方針や市議会の活動状況などについて身近に触れていただくことができます。手続などはありませんので、お気軽に傍聴席までお越しください。

傍聴席は市役所 6 階にあり、定員 47 名、先着順となっています。定員が超過した場合などは、同じフロアの議会ロビーモニターでも本会議の様子をご覧いただくことができます。手話通訳を希望される方は、事前に議会事務局にご相談ください。

ただし、申込日によってはご希望に添えない場合がありますので、あらかじめご了承ください。委員会についても傍聴することができますので、詳しい日程などは議会事務局までお問合せください。

議 会 活 動 日 誌

5月	【 7日】 文教厚生委員会
6月	【 4日】 総務企画委員会 【11日】 議会運営委員会 【16日】 田辺ONE未来デザイン調査特別委員会 【17日】 定例会（1日目）、総務企画委員会 【26日】 定例会（2日目） 【29日】 定例会（3日目）、議会運営委員会 【30日】 定例会（4日目）
7月	【 1日】 産業建設委員会、文教厚生委員会 【 2日】 総務企画委員会、田辺ONE未来デザイン調査特別委員会 【 8日】 定例会（5日目）、議会運営委員会、総務企画委員会、産業建設委員会、文教厚生委員会、広報委員会、田辺ONE未来デザイン調査特別委員会 【17日】 広報委員会

議会日程の詳細や市議会だよりの内容等について、ご意見・ご質問等がありましたら、田辺市議会事務局までご連絡ください。

【連絡先】 田辺市議会事務局

〒 646-8545 田辺市東山一丁目 5 - 1
 TEL 0739-26-9940（直通）
 FAX 0739-25-5579
 E-mail : gikai@city.tanabe.lg.jp
 田辺市議会ホームページ
<https://www.city.tanabe.lg.jp/soshiki/gikai/index.html>



◀ こちらからもホームページ
にアクセスできます

次回の「市議会だより」

11月号

（第3回（9月）定例会の報告）

令和8年第3回（9月）定例会の会期日程（予定）

第3回（9月）定例会の会期日程（案）をお知らせします。

日程は諸事情により変更される場合がありますので、恐れ入りますが、傍聴をご希望の場合は、議会事務局まで日時をお問い合わせください。

月	日	会議の内容
9	2	本会議 1 日目（議案の提案説明）
	11	本会議 2 日目（一般質問）
	14	本会議 3 日目（一般質問）
	15	本会議 4 日目（一般質問、議案に対する質疑及び委員会付託）
	16・17	常任委員会（付託議案に係る審査）
	25	本会議 5 日目（委員長報告、議案審議）

※ 本会議の開会予定時刻は、9月2日・25日が午後1時、それ以外は午前10時です。

編集後記

汗と土にまみれて白球を追った日々。
 2年4か月苦楽を共にした仲間と挑んだ最後の夏。
 36年前の紀三井寺球場。
 第72回全国高等学校野球選手権和歌山大会。
 くじ運のよいか悪いか開幕ゲーム。対するは優勝候補筆頭「高野山」。開会式の余韻に浸る間もなくプレイボール。
 先制し勢いづくも終わってみれば3-8の力負け。
 ゲームセットを告げるサイレンが無情にも鳴り響く。
 悔しさと無力感に包まれたロッカールーム。
 仲間と監督の言葉に涙した。泥だらけで撮った集合写真。
 今では尊くも気恥ずかしい思い出。球児の姿にあの日の風景が蘇る。記憶を辿りながらエールを送る。今年も「夢見た舞台」が始まる。

（北田）

広報委員会

委員長 前田 かよ
 副委員長 林 謙二
 委員 山本 竜児
 笠松 美奈
 北田 健治